

会 議 録

会議の名称	戸田市都市再生協議会（第1回）
開催日時	令和8年8月17日（月）午後7時00分 ～ 午後8時15分
開催場所	戸田市役所 5階 大会議室A
出席者氏名 （委員）	岡田 智秀（会長）、荒井 歩（副会長）、溝上 西二、藤田 安志、入船 優太、畠 繁明、細谷 功一、井口 知一、矢内 祐一、熊木 智洋、高屋 勝利、渡辺 大助、長谷川 昌之、小原 央（代理出席）、岡安 敦志
欠席者氏名 （委員）	古田 雄二、関口 道行
事務局	【戸田市 都市整備部】 早川部長 【戸田市 都市整備部 都市計画課】 今泉課長、佐藤主幹、寺本副主幹、早間主事、泉主事補 【戸田市 都市整備部 まちづくり区画整理室】 上田主幹、鈴木主任
内 容	・ 令和8年度 戸田市ウォーカブル推進事業北戸田駅周辺社会実験企画書（案）等について ・ 北戸田駅周辺における今年度の活用予定について ・ 北戸田駅周辺ウォーカブル歩道整備について
会議結果	別紙「会議の経過」のとおり
会議の経過	別紙「会議の経過」のとおり
会議資料	【資料1】：令和8年度 戸田市ウォーカブル推進事業北戸田駅周辺社会実験企画書（案）等について 【資料2】：北戸田駅周辺における今年度の活用予定について 【資料3】：北戸田駅周辺ウォーカブル歩道整備について
議事録確定	令和8年9月4日 都市再生協議会 会長 岡田 智秀

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<u>1. 開会</u> (開会挨拶) (資料及び議題の確認) (事務局から会長へ進行を交代)
会長	<u>2. 議題</u> <u>(1) 令和8年度 戸田市ウォーカブル推進事業北戸田駅周辺社会実験企画書(案) 等について</u> 「令和8年度 戸田市ウォーカブル推進事業北戸田駅周辺社会実験企画書(案) 等について」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料1に基づき、事務局より説明)
会長	北戸田駅におけるウォーカブルの大きな特徴は、単なる社会実験による賑わいづくりにとどまらず、実際に空間使いを試しながら今後の整備に役立てる点にある。 年度ごとに社会実験の対象地は変遷しており、最初の社会実験は笹目川プロムナードを中心に、近隣公園を活用して子どもからお年寄りまでが賑やかに楽しめるイベントを開催した。昨年度は北戸田駅の東西の環境空間を活用し、歩道の整備に向けた検証を目的とした社会実験を行った。 当日はあいにくの雨天により出足が思うようにいかなかったが、夕方以降のライトアップについては、家族連れを中心にかなり盛り上がったと捉えている。また、笹目川プロムナード側でも目的は異なるもののイベントの同時開催を行っていたが、あいにく相互の往来や交流は難しかった。その大きな理由として、動線の中間にある交流広場が工事中であったことが挙げられる。 今年度の社会実験については、新たに整備された交流広場を中心に展開する旨が事務局より示されている。 継続して実施してきたことにより、当初は地元商店会・町会の方々の支援のもと

発言者	議題・発言内容・決定事項
	に執り行われていたが、近年では地元企業のサングジャパンさんやタカショーさんなども参画し、官民連携が大きく進展している。 先だって確認したい点として、交流広場が9月にオープンし、今回のイベントがその2か月後となるが、本イベントが、駅前交流広場のこけら落としとなるのか伺いたい。
事務局	9月末に現場完成後、社会実験が初めてのイベントとなる予定である。オープニングセレモニーで市長にもその内容を触れていただきたいと考えている。
会長	記念すべきこけら落としなので、ぜひ皆さんからご意見ご質問をお願いしたい。毎年、キッチンカー対応でご尽力いただいている委員はいかがか。
委員	まず質問であるが、北戸田駅前広場は非常に反響が良いようであり、「いつイベントを開催できるのか」という問い合わせが商工会にも数件入っている。 現在はまだ広場完成後の実証実験の企画段階である旨を説明しているが、今年度から出店したい、あるいはイベントを企画したいという声が寄せられている状況である。 現時点では「ほこみち」制度も未設定と認識しているが、今年度3月までは実証実験という位置づけで進める認識で間違いないか、確認したい。
事務局	後ほど詳細を報告事項でご説明するが、今年度の実証実験は3月までを予定している。 内容としては、実証実験として毎月1回の出張モーヴィに合わせてキッチンカーの出店やステージ利用を検討しているため、出店を希望される方などがいらっしゃれば、事務局までお問い合わせいただきたい。
委員	問い合わせをしてきた方が、市内の方ではなく、ホームページを見て連絡してきたとのことであるが、ホームページにそのような事項が載っているの

発言者	議題・発言内容・決定事項
	か。都内の方なので、現地を見たというよりは何かで検索されたのではないかと思う。
事務局	社会実験については記載していないが、広場ができるということについて周知はしているため、そのホームページをご覧になったのかと思われる。
会長	社会実験の告知は、議題 1 の先ほどの資料説明の通りか。
事務局	そのとおりである。今後のスケジュールとしては、9月に近隣の町会へ案内を行い、10月前後にホームページへの掲載や、チラシ・ポスターの掲示等を実施する予定である。
会長	告知については、意識的に早めに動いていただければ幸いである。つづいて、まちづくりラボとしての取りまとめには委員にも尽力いただいているが、何かご意見はあるか。
委員	まちづくりラボでは、芦原町会の委員をはじめ町会の方々にもご協力いただいているところである。北戸田の賑わいは、これまで町会が主導して盛り上げてきたという経緯があるため、そのエリアをこれまで牽引してきた方々の思いを形にしながら発展させることが、まちづくりラボの今後の活動の軸になると考えている。 北戸田商店会としても、来年度以降に何らかの形で利用ができればと考えている。今年度は12月6日に噴水公園で開催される「トダイルミ」とのコラボレーションを予定している。そのため、実証実験の日程と重複するようであれば、うまく連携を取りながら進めたい。
会長	町会の方との連携は不可欠ということであるが、町会長はいかがか。
委員	町会とまちづくりラボの連携は重要であるが、町会が担える役割や体制に

発言者	議題・発言内容・決定事項
委員	も一定の限界があるため、ご期待に沿うことが難しい場合も想定される。 芦原町会は人も事業も多く抱えられているため、既存の状況を大切にしつつ、まちづくりラボ側としてどのように協力し、北戸田駅周辺エリアを盛り上げていけるのかが重要であると考えている。マンパワー等についても、まちづくりラボ側でしっかりと整え、町会側に過度な負担がかからないように配慮しながら進めていけたらよいと考えている。
会長	地元の方々からは協調的なご意見をいただいたが、事務局側から何か補足や意見はあるか。 特にご意見が無いようであれば、議題1については承認ということで意義はないか。 特に意義は無いようなので本案件を承認することとする。 <u>3. (報告)</u> <u>(1) 北戸田駅周辺における今年度の活用予定について</u>
会長	続いて、次第2「報告」に移る。報告「北戸田駅周辺における今年度の活用予定について」事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料2に基づき、事務局より説明)
会長	ただ今、説明のありました内容について、ご質問等はあるか。
委員	戸田駅周辺での「ほこみち」制度を活用したイベントの開催について、経済戦略室の協力のもと、これまで6回ほど開催され、様々な団体に利用されるようになった。そこで、今後の円滑な運用に向けたお願いとご相談がある。 1点目は、イベントの各種ルールや手続きの明確化についてである。 現在、警察への届出や費用、利用時間などに関して、運用面での様々な実

発言者	議題・発言内容・決定事項
	態や疑問が生じていると認識している。例えば、イベントを実施する際の蕨警察署への届出について、届出は「ほこみち」の範囲内だけでよいのか、それともそれ以外の箇所についても必要なか等についても、明確になっていない。また、「出店車両1台ごとに蕨警察署へ届け出る」というルールだったのが、いつの間にか「大枠でまとめて提出すればよい」という形に変わるなど、話が変わっていつてしまっている部分もある。 そのため、利用者や関係者が戸惑わないよう、できれば紙面等で分かりやすく整理された共通のルールを策定していただきたい。また、北戸田駅と戸田駅の間でも、可能な限り整合のとれた同様のルールとして今年度中にお示しいていただきたい。 2点目は、北戸田駅周辺のトイレ環境についてである。 今後、同駅の公衆トイレがなくなる予定と伺っている。イベント開催時にはトイレが不可欠であるが、近隣ではボール公園等まで移動する必要があるため、イベント時のトイレ利用のあり方や代替案について、行政の立場からのアドバイスやご検討をお願いしたい。
会長	今の話について、所管は同じ課ということで良いか。もしそうであるならば、一度枠組みを整理し様式を固めた方がいいと思うがいかがか。
事務局	戸田駅西口の「ほこみち」については、庁内の道路管理課が担当している。貸し出しにあたっては、「戸田市歩行者利便増進道路（ほこみち）利用の手引」を作成し、利用方法を定めている。道路管理課に共有して内容の確認と検討を行う。また、蕨警察署に対しても、「ほこみち」に関するご意見の共有も含め、取扱いについて確認を行いたいと考えている。 一方、北戸田駅については、今後、制度設計を進めていく中で、今回のご意見を踏まえて検討していきたい。
委員	追加で報告したいことがある。蕨警察署に対し、キッチンカーが無断で出店しているという通報が数件入っている。警察としては通報が入れば現場に

発言者	議題・発言内容・決定事項
委員	向かわざるを得ず、現場で「このような状況や許可のもとで出店している」と説明してもなかなか理解してもらえず、ここ３か月の間に私のところに警察から直接連絡が来るということが３件あった。 「ほこみち」の指定を受け、適正に申請して使用している場所であるにもかかわらず、そのように指摘を受けてしまっている状況である。 こうしたトラブルを防ぐためにも、早急に明確なルールづくりをお願いしたい。 「この出店者は許可を得ています」といったことが分かるような貼り紙や表示などを明確にしておかなければ、周囲にも伝わらない。誰が見ても分かるように改善してほしい。
事務局	利用される方に今後も周知していきたい。
会長	戸田駅と北戸田駅の行政側の所管は同じか。
事務局	「ほこみち」の今後の運用については戸田駅および北戸田駅ともに、最終的には道路管理課が所管することとなる。現在の整備はまちづくり区画整理室が、ウォーカブルに関する事業の計画は都市計画課がそれぞれ担当しており、これら３課が連携しながら進めているところである。今後は、貸出の運用について道路管理課とも十分に調整を図りつつ、北戸田駅におけるほこみちの制度設計をしっかりと進めたいと考えている。
会長	地域のプレーヤーには２駅共通で活動されている方もいると想定されるため、統一の基準や同じ様式を設ける方がよいと考えている。 また、許可証を発行したほうがよいのではないかと思う。具体的な対応方法については、地域の方々と十分に協議して決めていくべきであると感じる。 私自身も地元の祭礼の会長を務めているため、通報が入ることで身元確認され、現場の対応にも追われる苦労はよく分かる。

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	したがって、警察との協議や情報の共有も必要だと思われる。許可証のない車両に対してどのように取り締まり、お引き取りいただくのかについても、事前に警察と協議し、なるべく地域の方々の負担にならないような形で進めていく方が良い。 トイレに関する質問について回答する。 まず、社会実験の当日については、近隣にあるオネスト北戸田のトイレを貸していただけることとなっている。 北戸田駅の公衆トイレについては、環境課が担当しており、諸事情により10月12日に閉鎖すると聞いている。近隣の2号公園やボール公園等のトイレ使用になると、場所が遠くなるという点については事務局としても認識しているため、引き続き皆様からのご意見は環境課へお伝えしていきたい。
会長	イベント時に臨時トイレを設置するのはどうか。
事務局	今回は仮設トイレの設置予定はない。結果を踏まえて、今後の課題として、出てくれば検討させていただきたい。
会長	ご指摘の通り、イベント当日は飲食が促されるので、やはりどこにいけば用が足せるのか周知は大切である。したがって、周知徹底をお願いしたい。
事務局	近隣の方にご迷惑が掛からないように周知はしていきたい。
委員	遊歩道の方も「ほこみち」になるという認識でよろしいか。
事務局	時期は未定だが、同様に「ほこみち」指定に向けて検証をしたいと考えている。
会長	町会との連携に関して、まちづくりラボには町会の委員にも参加いただい

発言者	議題・発言内容・決定事項
委員	ているところであるが、何かご意見があるか。 まちづくりラボについて、令和10年度まで整備計画があると思うが、北戸田駅周辺の整備が終わった後、まちづくりラボの扱いについてはどのようにする予定か。
事務局	まちづくりラボでは、これまで駅前空間のプロデューサーのような立場で社会実験の企画などを重ねていただいたところである。そのような立場であれば、令和10年度までの整備計画が完了した時点で一区切りになるという考えもある。もしくは、今後の「ほこみち」の指定なども踏まえ、広場など公共空間を利用するプレーヤー当事者として活動を続けていくという展開が生じていくのであれば、都市再生協議会や都市再生整備計画が継続して関わり活動を支援していくべきという考え方もある。今後の役割分担や体制を含めて、引き続きまちづくりラボの皆様と検討を重ねていきたい。
委員	先ほどの話とつながるが、社会実証の間は都市計画課が主管であり、実際に運用開始となると道路管理課が主管になると思うが、広場と遊歩道の「ほこみち」設定については、時期がずれるという認識でよいのか。広場と遊歩道の両方を使うイベントがあった場合、申請の仕方はどのようにになるのか。
事務局	今後の「ほこみち」指定の進め方によるが、段階的に指定していくのであれば、「ほこみち」申請部分と、社会実験部分と、別々に貸し出すことになる。また、広場や遊歩道以外についても「ほこみち」候補の箇所があるので、今後の駅周辺でのプレーヤーとなり得る方がどのように利用するのか、道路に隣接する更地に今後どのような店舗が開発されていくのか、駅前広場整備後の周辺状況を見ながら「ほこみち」の対象路線やそれぞれの指定時期について判断していきたい。
会長	「ほこみち」について、今後の対象箇所や指定のタイミングの話があった

発言者	議題・発言内容・決定事項
	が、色々な拠点を結んで回遊性を創出することもウォーカブルの狙いであるため、とても大事な視点であると思う。また、活用する公共空間によって利用申請のフォーマットが変わると、せっかくのウォーカブルの足かせになるので、申請書に関して統一のフォーマットで作成できるとよい。庁内の異動があった際の引継ぎも円滑になると思う。 これは行政側と市民側でウィンウィンだと思うので是非ご検討いただきたい。 <u>(2) 北戸田駅周辺ウォーカブル歩道整備について</u>
会長	それでは、引き続き、報告「北戸田駅周辺ウォーカブル歩道整備について」事務局より説明をお願いする。
事務局	(資料説明)
会長	ありがとうございます。 ただ今、説明のありました内容について、ご質問等はあるか。
会長	居心地が良く、歩いて楽しいまちづくりを目指すことがウォーカブルの理念である。その点、要所にベンチが設けられ、居心地が良い空間が形成されていると感じる。夜間に関してはライトアップを連続させることで治安や防犯の面に加えて豊かな歩行空間が演出されている。 また、サルスベリについては、冬の間に LED を巻き付けられるような仕様としており、駅から帰宅される方々の心を和ませるような配慮がなされている。 ランドスケープの専門的な観点から、副会長からご意見をお願いしたい。
副会長	地元の方々と話し合いの上で進められている点は非常に良いと思う。イルミネーションを設置する際には、ソゴについても株立ちにしたほうが、見た目もきれいで良いのではないか。サツキツツジなどはゴミを投げ込まれて

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	しまうことが多く、清掃が大変であるという声を他の自治体からも聞いている。現在選定されているようなもので、皆さんが管理しやすい樹木が良いと思う。 また、花壇についてもご協力いただけるとのことである。一生懸命花壇を作ってくださっている方の顔が思い浮かべば、ゴミを捨てたり荒らしたりする行為も自然となくなるはずである。このようにご協力いただけることで、そのまちらしさを演出できるのではないかと考えている。 JRの敷地もあるということで、かなり調整に難航されたと思う。まちづくり区画整理室、都市計画課の皆様には、お礼を申し上げたい。次いで負担をお願いすることになってしまうが、町会の方で花植えにご協力いただけることで、この場所が地域の方の共通の庭になると思う。まさに行政と地域が連携した賜物である。 質問がなければ、報告は終わりたいと思うが、全体を通していかがか。せつかなので、最後、総括として委員にご意見いただければ幸いである。
委員	約40年前、北戸田東口の駅前にモデルハウスをつくり、10年ほどモデルハウス事業を展開した。当時は何もない場所であったが、仕事帰りに屋台のような飲み屋さんがあり、仕事終わりに一杯飲んで帰った思い出がある。今回、北戸田駅西口駅前に立派な広場ができることになり、非常に感慨深い思いでいる。今でも毎日のように現場の様子を見に行っているところである。 また、先ほど話題にあがったトイレについてだが、あの敷地はJRの所有地であると聞いている。周辺からは「トイレ問題はどうするのか」「駅の改札内のトイレを使うのではないか」「交番のトイレを使うのではないか」「ニッケン建設のトイレを使うのではないか」など、様々な憶測や意見が飛び交っている。 実際のところ、このエリアに公衆トイレなどを新しく設置する計画は本当にないのか。

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	担当課に確認したところ、現時点では新規で作る予定はないとのこと。
委員	やはりトイレは必要と感じる。当初は公衆トイレを別に作るものだと思っていたが、実際に現場を見ていると作らないような印象を受ける。ちなみに、うちの施設のトイレはいつでも自由に使ってもらっても構わないのだが、この件に関する感想は以上とする。
会長	やはり交流広場ができ、環境空間が整備される以上、トイレの整備についても「待ったなし」の課題となる。そういった意味では、地域の方々から声を上げていただくことも大切であるが、それと同時に、公衆トイレといった公共サービスは行政側の責務でもあると考えている。つまり、人が集まる空間を作ったからには、その後の運営におけるホスピタリティとして、トイレの確保は必要になると思う。 今後もこの話題は繰り返し出てくることが予想されるため、庁内でも対応策を検討していただきたい。次回以降の会議でも必ずトイレ問題は浮上すると思われるため、ぜひ前向きに検討していただけると幸いである。
事務局	我々としてもトイレの廃止時期については最近になって知ったところであり、懸念していた部分であった。本日、皆様から貴重なご意見をいただいた。11月の社会実験の結果も踏まえ、やはり現状では不便であるという話になった場合、環境課をはじめとする庁内関係部署と連携を図る。さらに、敷地所有者である JR とも調整を進めながら、次回以降の協議会に向けて対応策を検討していきたい。
副会長	客観的に見て、ここまで着実に事業が前進しており、ここに至るまでには大変なご苦勞があったことと思う。町会の方々とまちづくりラボの方々が、ゼロから人間関係をしっかりと積み上げてこられたのだと感じており、それがご質問やご意見からも見て取れる。 内容についても「このようにしていきたい」という前向きで建設的な意見

発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	が積み上げられている点に感心している。その上で、今後は庁内調整も必要になってくるかと思う。一般的に、住民の方々と行政側でこうした建設的な意見交換を行うのは容易ではないため、その点本協議会は着実に進められていると感じる。 万が一の災害時などには、これまで積み上げてきたこうした関係性が必ず生きてくるはずである。一番の信頼関係がある中で進められている事業であるため、ぜひこれからもこの調子で進めていただきたい。 この協議会が発足した最初期の話題として、40年前の北戸田駅周辺は暗く何もない場所であったという話もあったが、ここ最近で着実に空間が変わり、前向きな形になってきていると感じる。また、行政任せではなく、地域の方も地に足をつけて着実に前進されている。現在の体制からより発展できるような社会実験となることを期待し、本日の協議会を終了したい。 <u>(会長から事務局へ進行を交代)</u> <u>4. 閉会</u> 以上